

北海道浮魚ニュース

平成 28(2016)年度 18 号

2016 年 9 月 8 日

道総研 釧路水産試験場

<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.htm>

◎道東太平洋マサバ・マイワシ漁期中調査結果

北辰丸(釧路水産試験場調査船)によって行われたマサバ・マイワシ漁期中調査の結果をお知らせします。なお、本年は時化のため、例年よりも調査点数が少なくなっています。

調査期間

2016 年 9 月 1 日～9 月 6 日

調査海域および調査点

道東～三陸沖合太平洋海域（北緯 40 度 30 分～42 度 40 分、東経 143 度 00 分～145 度 37 分：親潮系冷水域および黒潮系暖水域）における 5 調査点（図 1）です。

調査方法

10 種類の目合

(22・25mm：30 間切り各 1 反、

29・37mm：30 間切り各 4 反、

48・82mm：60 間切り各 2 反、

55・63・72mm：60 間切り各 1 反、

182mm：60 間切り 16 反) の流し網を用いた漁獲試験で、今年度より 82mm を 1 反追加し 2 反で実施しました。

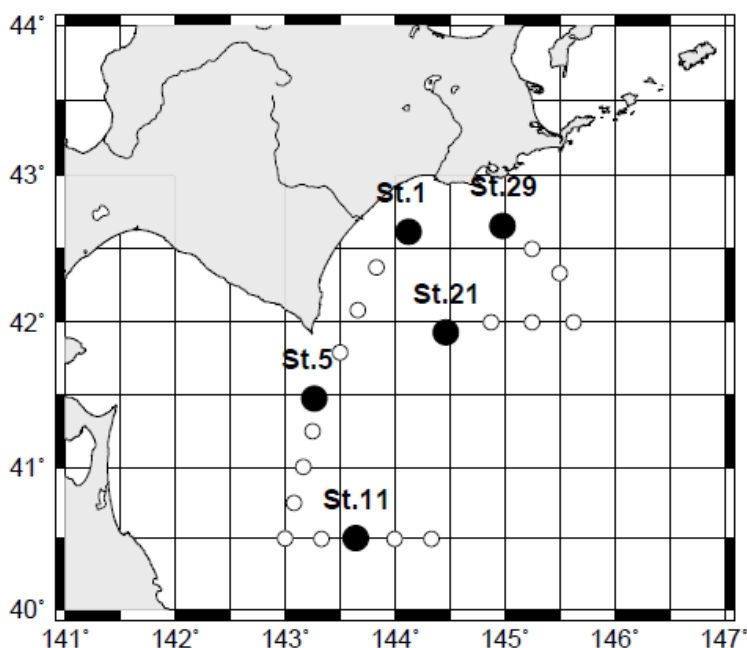


図1 漁獲試験調査点

●:流し網調査および海洋観測

○:海洋観測

- ① 漁獲試験を行った 5 調査点の表面水温は 18.3～21.1℃(前年:19.0～21.1℃)、50m 層水温は 4.9～13.0℃(前年:4.1～14.0℃)、100m 層水温は 3.3～10.8℃(前年:2.5～10.6℃)でした(表 1)。

表1 水温および魚種別採集尾数

St.	1	5	11	21	29	合計
表面水温(°C)	19.7	18.3	20.9	21.1	21.0	
50m水温(°C)	6.2	9.8	4.9	10.3	13.0	
100m水温(°C)	6.1	6.6	3.3	7.2	10.8	
サバ類	106	131	203	152	17	609
マイワシ	96	27	38	14	7	182
カタクチイワシ	0	0	9	0	0	9
サンマ	0	0	0	0	0	0
スルメイカ	2	1	0	0	0	3
アカイカ	499	100	0	87	99	785

② 調査点別の魚種別漁獲尾数（表1）および流し網調査1回当たりの漁獲尾数（CPUE）の経年変化（図2、4、6、7）ならびに漁獲試験で採集された漁獲物の体長組成（図3、5）は以下のとおりです。

・サバ類(マサバ、ゴマサバ)

5調査点にて、合計609尾漁獲されました(表1)。

CPUEは120.8尾/回で、前年の101.0尾/回を上回りました(図2)。

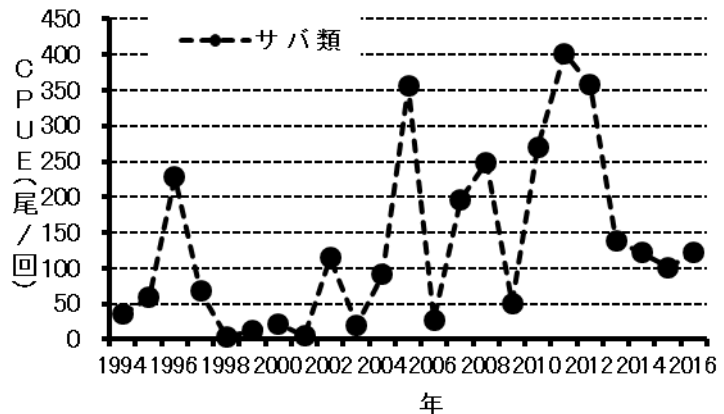


図2 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化

魚体は尾叉長17~41cm台で、28cm前後の個体が主体(図3)となっていました。前年同様に30cm以上の個体が少なくなっていました。

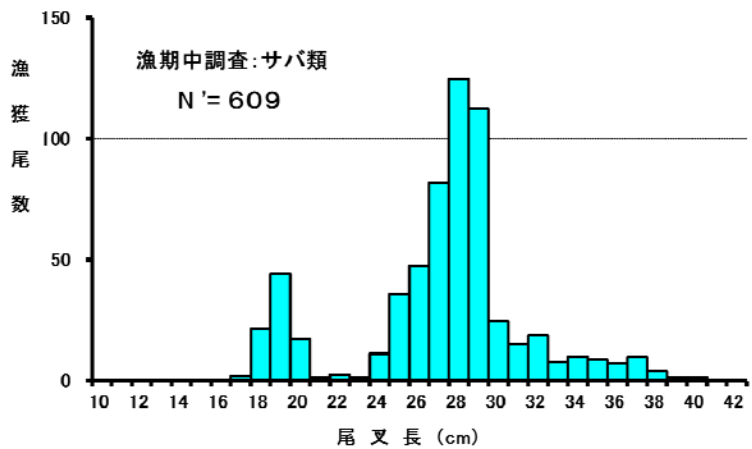


図3 サバ類の漁獲物体長組成

・マイワシ

5調査点にて、合計182尾漁獲されました(表1)。

CPUEは36.4尾/回で、前年の58.3尾/回を下回りました(図4)。

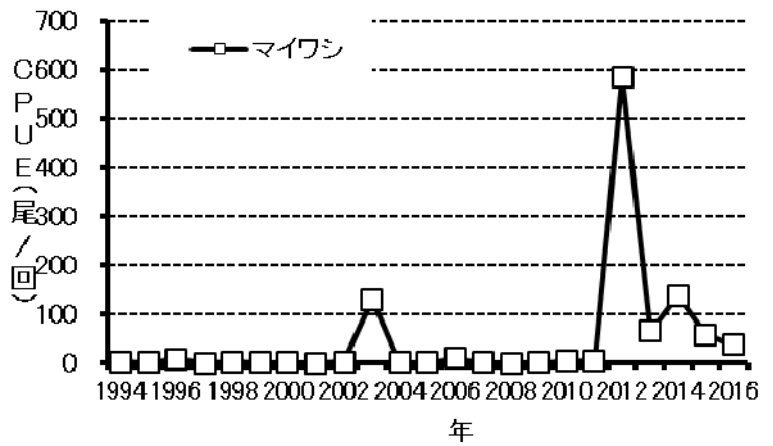


図4 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)経年変化

魚体は体長15~22cm台にあり、16cm台が主体となっていました(図5下)。前年(図5上)より20cm台の大型個体が少なくなっていました。

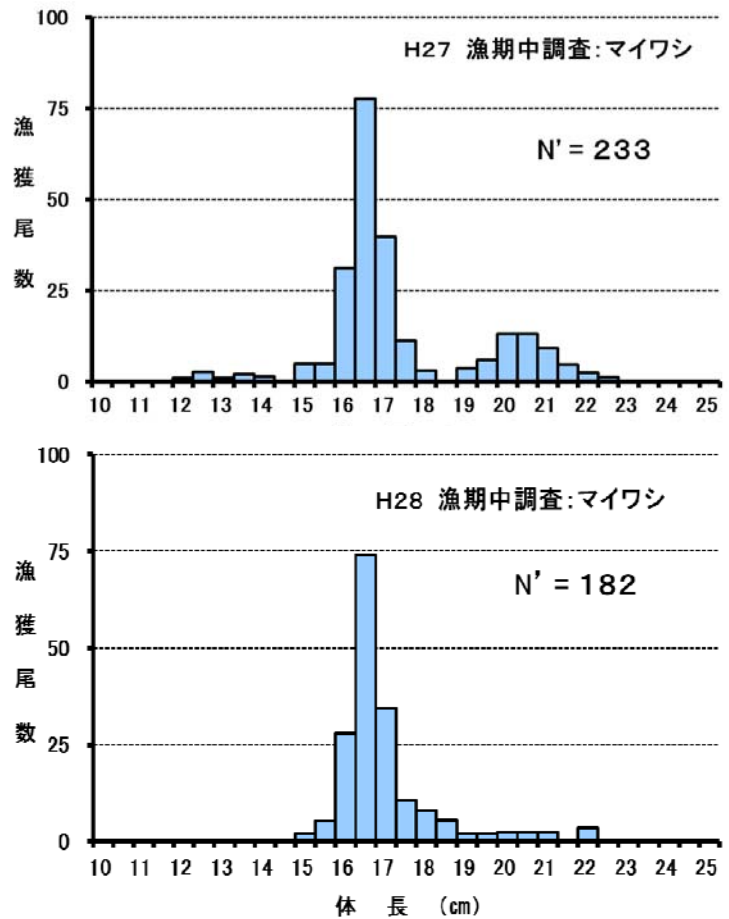


図5 マイワシの漁獲物体長組成
上:H27(昨年) 下:H28(今年)

・カタクチイワシ

1 調査点で、11.5～12.0cm 台が 9 尾漁獲されました（表 1）。

CPUE は 2007 年以降低い値で推移しています（図 6）。

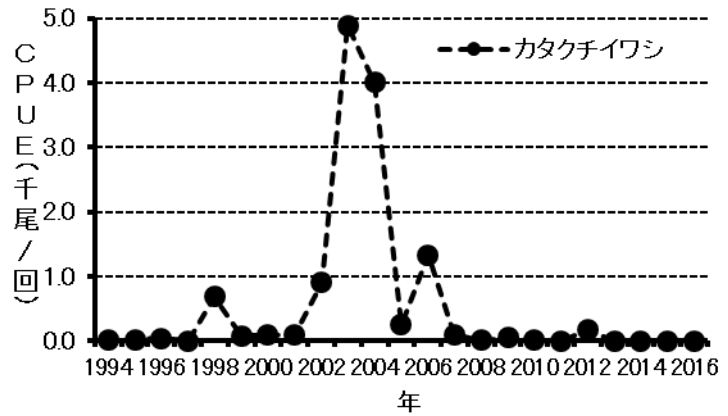


図6 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化

・サンマ

今年の調査では、サンマは漁獲されませんでした（表 1）。

1994 年以降、漁獲がなかったのは初めてでした（図 7）。

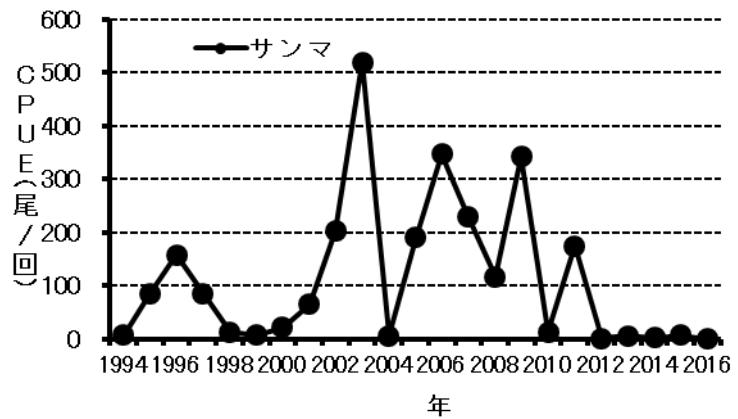


図7 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化(サンマ)

(道総研 釧路水産試験場 調査研究部

直通電話：0154-23-6222、FAX：0154-23-6225)